

せば



130号にちょっと寄っていきましょ!! (Table of contents)

- ★ 130号特別企画 **ざっくばらんトップ対談** ～洗馬地区の「農業」・「暮らし」を考える～
青年部長 田中和義さん ・ 女性部長 塩原はるみさん
コーディネーター 北沢泉代表理事組合長 **3名によるスペシャル対談!!** (1～14ページ)
- ★ JA洗馬からの 読んでうれしい・見てたのしい 総合情報提供ページ (15～17ページ)
妙義山麓からな SEBA なう!!
- ★ クレアせばからのお便り・夢ある「農」を目指して～(株)ドリームファーム洗馬の圃場から～ (18ページ)
- ★ ホット seba (19～21ページ)
- ★ **旬風!! 農産物直売所アピス** ～8/12 (木) お盆お花まつり開催!!～ (22ページ)
- ★ JAからの伝言板 (スタンド改修工事・しおじり元気応援券・年金友の会研修旅行中止について) (23～24ページ)
- ★ 理事会よりこんにちは!! (理事会通信) (25ページ)
- ★ 信用課からのお知らせ ～長野県JAバンク優遇プログラムによるサービス開始のご案内～ (26ページ)
- ★ JA登録住所の確認と変更手続きのお願い・ホット seba ぷらす (27ページ)



令和3年8月 第130号



広報誌せば SDGsに挑戦中!!

JA洗馬公式HP



表紙写真：太陽に向かって咲く向日葵（元町地区）

JA洗馬公式Twitter @seba_noukyo

ざっくばらん トップ対談

テーマ 洗馬地区の「農業」・「暮らし」を考える

今回のゲスト

J A洗馬青年部長 田中 和義 さん

J A洗馬女性部長 塩原 はるみ さん

コーディネーター

北沢 泉 代表理事組合長

対談日：令和3年7月9日（金曜日）

広報せば第130号特別企画 『ざっくばらん トップ対談』。

今回のゲストは、令和3年度J A洗馬青年部長の田中和義さん（上小曾部区）、同じく女性部長の塩原はるみさん（太田区）をお迎えし、対談テーマを『洗馬地区の農業・暮らしを考える』と題し、両部長が普段思っている意見やアイデアなどをざっくばらんな雰囲気でお伺いしました。

さて、J A洗馬では、10年後の在るべき組織の姿、洗馬地区の農業や暮らしの変化などを想像しながら、令和4年度～6年度における次期中期計画の策定に向け、心構えや体制を整えているところでありますが、今回の対談内容は計画策定のヒントとなるべき内容が詰まっています。

対談コーディネーターは、北沢泉代表理事組合長。J A洗馬を代表する2大部会組織のトップとJ A洗馬代表者による、ユーモアと笑いの中に、明日の農業と暮らしに対するそれぞれの情熱を感じることができた対談となりました。



北沢

青年部長の田中さん、女性部長の塩原さん。本日は農作業の忙しい時期にもかかわらず、JA洗馬広報事業検討会議企画のトップ対談に足をお運び頂きまして、誠にありがとうございます。まずもって本年4月には果樹農家の皆様を中心に、一部野菜農家の皆様におかれましても凍霜害に遭われたということであり、改めてお見舞い申し上げます。現在理事会でも報告を受けながら然るべき対応についても検討しておりますのでご了承願います。

さて、JA洗馬では、来たる令和4年度から6年度までの中期計画策定にあたり、10年後を見据えながら、次期3カ年で「何をすべきか」を検討していく準備段階にあります。本日のトップ会談により、当JAを代表する両部会の部長さんから貴重なご意見等もお伺いできればと思いますが、ぜひ肩の力は抜いていただき、タイトルの通り「ざっくばらん」なお話し合いを、同じ組合員目線で出来れば何よりです。どうぞよろしくお願い致します。

田中

今日はこのような時間を用意して頂き、ありがとうございます。今年是我が家でも、昨年からのコロナの影響を考慮して、レタスの切り上げ時期を少し早くしました。キャベツもぼつぼつ終了となり、この後はスイートコーンの出荷が始まるという段階です。スイートコーンも今年は価格が心配されますが、秋作の作業を進めながら頑張りたいと思います。今日はよろしくお願致します。

塩原

私からもありがとうございます。私も結婚する前は上小曾部の住民だった



*****プロフィール*****

田中 和義 (たなか かずよし)

1974年生まれ。塩尻市洗馬上小曾部在住。

令和3年度JA洗馬青年部長。

レタス2ha、キャベツ60a、スイートコーン1haを奥様とともに栽培。

ご家族は、ご本人、奥様、ご長男(高校生)、ご長女(中学生)、お母様の5人家族。

趣味は釣り。

目下一番の楽しみは、部活動を頑張る子供さんの応援を通し、成長を見守ること。

大事にしている言葉は、『後(うしろ)でなく前』父と母から受け継いだ野菜栽培に、夫婦で情熱を傾けながらも、愛するご家族との団欒を大切に、未来ある子供の成長を願う47歳。

田中

青年部は現在34名の盟友が在籍しています。年齢としては上は50歳手前の方から下は25歳前後の方で構成しています。組合長のお話の通り、現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、全員が集まる活動は出来ていないのが正直なところです。しかし、試験圃場による「伝統のスイートコーン栽培」は何とか絶やしたくないと考え、4月下旬に種まき

北沢

ので、田中さんのことは存じ上げています。私の家でも現在はブドウの手入れに忙しい時期です。加工ブドウの栽培がメインですが、今年就農した長男は、須坂の県農業大学校を卒業させていただきまして、今後は太田地区の先輩方に仲間にいられてもらいながら、シャインマスカットやナガノパール、クイーンルージュといった大粒種ぶどうの栽培出荷を伸ばしていきたいと思っています。作業は大変ですが、「皆さまからおいしいと思っただけのような果物を作ること」を目指して頑張っています。今日はよろしくお願致します。

JA洗馬青年部・女性部の活動状況について

北沢

現在新型コロナウイルス感染予防のため、あらゆる組織活動が停滞を強いられております。また、洗馬地区も少子高齢化という状況もある中で、まずは、青年部、女性部の組織状況、活動

状況を教えて下さい。

し、間もなく収穫期を迎えます。昨年は、ここで収穫したスイートコーンを、洗馬小学校の児童の皆さんへ食材提供し、給食で味わっていただきました。今年も夏休み前に収穫となれば旬の甘くておいしいスイートコーンを地元食材の味としてお届けしたいと思っています。

北沢 それは児童の皆さんも喜ぶと思うよ。ところで、青年部員のうち未婚者の方はどのくらいいますか。

田中 現在30代の盟友が多い中で、34名の盟友のうち未婚の方は約半数と認識しています。結婚されている方を見ると、だいたいの家で奥さんも少なからず農業と一緒に携わっているんじゃないかと見えています。年齢も20代だとご両親も現役で農業をやっている家も多いし、家族ぐるみで子供の面倒を見たり、農作業できたりする魅力もあると思います。

北沢 そうだね。そういうところは本当に融通が利くと思いますね。既婚者と未婚者が約半数という状況の中で、もっと部員同士の交流が深められれば、そういうところからお嫁さん探しも出来るんじゃないかな。盟友がたくさんいた方が良いと思うけれど、部員の勧誘なんかは考えていますか。

田中 何もやっていませんというわけではないけれど、青年部年齢範囲内で「農業をやりたい」という方がいれば、声を掛けることにはなっています。しかし、中には「忙しいから」とか「役員が面倒」という方も多く、全員加入には至っていない状況です。何とか魅力的な活動や青年部加入の意義を知ってもらうことが必要ですが、どうしていいものやらです。



*****プロフィール*****

塩原 はるみ (しおはら はるみ)

1972年生まれ。 塩尻市洗馬太田在住。

令和3年度JA洗馬女性部長。

水稲25a、梨(南水・豊水)20a、加工ブドウ(コンコード・メルロー・マスカットベリーAなど)約1.5haを主にご長男と旦那様のお母様とともに栽培。ご家族は、ご本人、ご主人様、ご長男(本年4月より就農)、ご次女(高校生)の4人家族。同じ敷地内には旦那様のお母様と弟様も暮らす。(ご長女は県外に在住で、コロナウイルスの影響で1年以上帰郷出来ず)

特技は自称『誰とでも友だちになれる』こととし、農作業の合間に友人との食事や会話を楽しむ。

好きな言葉は、『やれば出来る』。

北沢 塩原

わかりました。女性部はどうですか。

女性部は現在42名で活動しています。岩垂支部、下小曾支部の皆さんが多く、あとは芦の田と太田地区の方で構成されています。残念ながら上小曾支部と元町区、上組区の方の加盟はありませんが、年会費も高くないので、どうやったら部員を増やすことが出来るのかと思っています。農家の方が対象だと勘違いされている方も多いのですが、JA洗馬女性部は農家でも非農家でも、地域のくらしと生活とかの中で、自分が楽しみだと思えるような活動が出来る部会でもあると思うんです。そういうところから仲間同士の会話も出来て、地域ぐるみでまとまるんじゃないかと思うんです。

以前はフレッシュミズといった次の世代の集まりがあったと思うのですが、今は何もない状況。女性部員の中でも「楽しみな活動がない」ということで加入しない方もいると聞いています。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずありますが、今年は第50回を迎える農協祭もあるということで、そこに向けて女性部として、来てくれた方も、私たち自身も楽しいと思えるような活動が出来ないかなあと検討しているところなんです。

北沢

青年部にしても女性部にしても、コロナ禍の大変な時期ではあるけれど、「できること」「やれること」を模索する中で、どんどん新しい仲間や既存の仲間の方に、活動の楽しさや意義など積極的に声掛けしてもらいながら、仲間の輪、協同の輪を広げていってほしいですね。JAとしても協力します。

特にJA洗馬本所2階には、オール電化の調理設備が整った素晴らしいコミュニケーションルームがあるので、女性のみならず男性にも活用して欲しいね。

ところで、青年部から女性部に対し、反対に女性部から青年部に対し、「こんなことを期待したい」ということがあれば、お話ししてください。

田中 女性部の皆さんはコロナ禍の中で、部員を集めた活動に対してはどうやってやっているか教えて欲しいです。

塩原 やはり研修旅行や茶話会お食事会のようなことは、とてもではないけどきびしいかなあ……。今年は生活に役立つ品や生活空間にあると和むアイテムづくりなどをやってみたいとは考えています。

北沢 研修旅行もお食事会も仲間の輪を作る上では大事なことです。プラスして、例えば女性部としての意義や地域社会への発信という面を考えた活動なんかも取り入れていくことが出来れば、これ以上のことはないと思うよ。そろそろ考えてみてもいい時期じゃないかな(笑)。

塩原 コロナ禍が過ぎ去った後、「いざやるぞ」という体制になっていけば、尚更いいんじゃないかな。

塩原 それから女性部から青年部に対してお願いがあります。一つは女性部では洗馬小学校とのレタス栽培体験に、役員の方にも協力していただきながら参加しています。先日の女性部役員会の中では「もう少し男性、特に青年部の方にもこの活動に加わって欲しい」という意見が出ましたがどうですか(笑)。

田中 その辺は、言われればその通りだと思います。事務局の職員さん同士でどのような話しになっていくか全くわからないのですが、その相談は一回も頂いたことがないというのが事実です。

青年部も昔は芦の田地区に圃場があるときは、小学生にもスイートコーンの種まきや収穫を体験してもらっていた経過があり、レタスに関しても声がかからないことが不思議な感じで、機会があれば青年部の役員でもいいし、レタスを作っている盟友でもいいし、有志でもいいんですが、我々としても参加してもいいんじゃないかと思えます。

北沢 それはJAの両部会の事務局をやっている職員間でもっと共有

田中

すべきことだね。とてもいい意見だと思うし、青年部もその活動の意義を理解してくれるのであれば、私としても本場にありたいと思えます。

田中 マルチ敷きや肥料散布などはJAにお任せしてしまうと思うけど、そこはぜひ子供の顔も見たいし、種まきや収穫には参加できるのなら声を掛けてください。

塩原

それともう一つお願いします(笑)。

田中

なんででしょうか(笑)。

塩原 昨年からの今年の冬に行った青年部と女性部共催による冬期健康講座についてですが、女性部の参加者に比べ青年部員さんの参加がほとんどありませんでした。この健康講座は、青年部盟友で下小曾部区の青柳充さんが行っているもので、青年部の男性陣ももっと仲間が取り組んでいる活動に対し、理解しながら参加することで、青柳さんを盛り立てながら協力したらどうかと思えます。

田中

その件は役員会で塩原地域振興課長から参加要請の説明がありました。参加者がほとんどなかったというところは非常に申し訳ないと思えます。農家にとって体は資本と考えています。メンテナンスの重要性は本当に感じています。なかなか20代だとそういう実感が湧かないこともあるかも。せっかく盟友から講師も出ているので次回は、連絡をしっかりとしたいと思います。



今こそ青年部と女性部の意思疎通が重要です!!

ケースに対し5円以内の助成も計画しています。そのほか、春野菜の生産拡大を主眼に、環境保全農業への挑戦も視野に入れた生分解マルチへの購入助成も計画しています。また、遊休農地の解消対策として青年部盟友家族1年間に限り、利用権設定賃借料30%以内の助成も新たに計画に加えしました。こういう取り組みも少しずつではあります。実施しながら産地の維持と出荷量の確保をお願いしているところ。組合員農家の若手の皆さまからは、「レタス120万ケースの計画根拠が分からない」というようなご意見も頂戴していることは重々に承知しています。青年部長としては、その部分どのように考えているか教えて下さい。

難しい質問ですよ（笑）。

J A洗馬は農産物の総合産地と言われるほど、パセリやピーマンなどの小物野菜の取り扱いも多く、昨今は塩原女性部長さんがお住まいの太田地区でもシャインマスカットやナガノパープルなどの大粒種ぶどうの出荷が盛んになり、昨年は果樹全体の販売高が1億8千万円強となるなど盛り上りを見せています。



真剣な表情で考えを述べる田中部長

このような相乗効果を得られるのはやはり、「洗馬のレタス」という産地ブランド力があるからだと分析しています。また、レタスの安定的出荷および価格維持形成の1つの手段として「予約相対販売」があるんだけれど、それを優位に運ぶためにも「レタスの出荷数量の維持」は重要なキーワードとなっています。そういうところも加味しながらJ Aとして基本の目標数字を打ち出しているのだけでも、率直な

ところどう捉えていますか。

120万ケースという目標設定の意図は分かりました。確かにその目標に向かって生産を行っていくことは、総合的な産地の維持や価格の安定取引に向けては必要だと感じています。ただ、各地区栽培講習会等でも「120万ケースの目標をどうやって達成するの?」「何を根拠に?」という声があることは私としても承知しております。その気持ちも分からないでもないのですが、この計画を立てたJ A洗馬としての考えに対し、もっと情熱的な説明があったり、生産振興ビジョンによる助成のアピールをレタス生産者一人一人と向き合いながら語っていけば、理解が得られるのではないかと思います。青年部の中でも賛否両論はあろうかと思いますが、私的にはJ Aから示された計画に向けて自分の家で出来る範囲の努力をしていければいいのかなあと感じています。

ただし、努力するのは当然としても、昨年や今年のようにコロナ禍の市場流通を考えた場合、当然価格が安くなるのが予測されるわけで、「本当にレタスだけで大丈夫なの?」という疑問が湧くことも正直なところ。その時に「やはり洗馬はレタスがなくてはならない」という組合長のお考えを農家に理解してもらえらるために、J Aにはもっと真剣に農家と向き合うべきことがあるのではないかと思います。

田中部長の言う通りだと思えます。レタスのみを栽培すればいいということではなく、危険回避という意味では、多品目栽培も重要な経営方法だと思えます。J Aも「農家の皆さまの張り合いのために計画数字を作っている」部分もないわけではないが、「目標を20億に下げます」とJ A側で提案したところで、果たして農家の皆様がその気になってくれるかどうかも分かりません。「73年のJ A洗馬の歴史の中にレタスあり」という部分は大事にしながら、レタスにこだわる必要もないという意見もある中で、J Aとして少しでも理解して頂けるように頑張っていきたいと思えます。

一方、果樹の方は生産者の皆様の努力とともに、先輩農家の方と若い後継者の皆さまが一緒になって、積極的に栽培を学んだりしているということも耳にしていますが、どうでしょうか。

J A洗馬が生産振興のためにこのような助成対策を実施しているということをお恥ずかしながら初めて知りました。太田地区の果樹も近年若い農家の方が頑張っていますが、若い方以上にベテランの大先輩方からも「おいしい果物をつくらう」という意気込みが伝わってきています。私の家では4月の凍霜害で梨が6割くらい被害に遭いました。4月に5回も燃焼資材を

使った年は過去にもありませんでした。朝方の冷え込みはあることですが、夜中の12時や1時にマイナス2度となれば、寝ている時間もなく、また一晩に6万円も資材代を使って対策しても被害に遭ってしまうので、正直がっかりしています。あきらめるのは簡単だったかもしれませんが、今年就農した息子に「おいしい果物栽培に大切な「あきらめない心」「農家としての心」を見せてやれたことは収穫だったかなあと思いますね。果樹もそうですが一部野菜の皆さまも凍霜害に遭われたということ、J Aに何らかのバックアップをしていただければ心強い限りです。

北沢 一昨年の凍霜害では、J A洗馬から一部助成としてお見舞いを

らせて頂いた経過があります。今年の凍霜害も太田地区の塩原正彦理事から被害状況も聞いており、理事会でも何らかの補助を検討したいという方向になっておりますので、何とか頑張って栽培に励んでもらえれば嬉しい限りです。

感謝致します。

北沢 J A洗馬は県下14 J Aの中で最小のJ Aですが、野菜と果樹を主体にしなから、他の大型J Aに引けをとるよう



太田地区の果樹栽培の状況を語る塩原部長

なJ Aではありませんので、組合員農家の皆さまお一人一人がJ A洗馬を利用していただける様な環境を作っていきたいと思えます。

10年後の洗馬地区農業は？

これからどんな方向へ向かっていくのか？

北沢 色々なお話しをさせてもらいましたが、前段でお話しさせてもらった通り、J A洗馬次期3カ年計画では、10年後を見据えながら、次の3年間でJ Aとして何をすべきかを検討していくこととなります。両部長から見た10年後の洗馬地区の農業はどうなっていると感じていますか。現状を見る限りJ Aとしては10年後も農業を主軸に事業展開していると感じていますが、少子高齢化に加え就農者の年齢も上昇している状況も見えております。私は現在66歳となるわけですが、私が子供の頃の66歳と今の66歳では、大きく違うところがあります。昔は既に引退してもおかしくない年齢でしたが、今や現役で農業従事できる年齢だからね。体力的な面と置かれている生活環境の違いだと思うけれど、いずれにしても10年後を見据える中では、農家の皆さまによる法人化経営、会社経営という場面も想定されてくるんじゃないかとも考えられますが、どうでしょうか。

田中

10年後・・・(笑)。自分の親世代も含め、今や70代、80代になっても本当に元気に農業従事している方が多くなったと思います。私たち世代は、果たしてそのように高齢になるまで農業を出来るかどうかというところが一番心配しているところですが(笑)。でも本当に冗談じゃなくて、まずもって食生活の違い過ぎると思いますね。昔の方は質素で魚や野菜を中心とした食生活で、健康的に年齢を重ねてきたと思うけれど、今や肉食中心の生活があったり、食べたいものを好きなだけ食べられる環境もあり、本当にこれで大丈夫かと心配になります。私も10年後はまだ想像できますが、70代、80代まで頑張れるかと言われると自信がないです。

私の住んでいる上小曾部地区のことを考えれば、5年後10年後に、農家をやっている方がどれだけ減少しているかと考えただけで寂しくなってしまうです。

それから青年部を見ても、おそらく何らかの健康上の不安を抱えている方もあったりするので、体を大事にすることは重要だと思います。不安要素はたくさんありますが現状を見る限り、おそらく10年後も洗馬は産地として維持出来ているかと思いません。例えば岩垂地区の大きい農家の方が離農したとしても、そこに農地がある限り、何とか維持管理が出来ているかとも思っています。ただ、その先の20年30年後にレタスで青々とした圃場が広がっているかと言われると、難しいかもしれませんね。今は家族経営が主流の洗馬地区農業ですが、農業後継者が少ない中で、家族経営に限界が来た時には厳しいと感じます。JAでもそういう面で技能実習生による労働力確保に対し、助成を行ったりしていますが、更に踏み込んだ対策を検討いただきたいということ、やはりある程度法人化する組織を育成して、ひと団地丸ごと作付けしてもらえよう体制になつていけば、洗馬も産地としての維持が出来ていくような気がします。

北沢 私も家族農業の良さも十分理解していますが、後継者が育つて次の世代も安心というのならともかく、家族の体力的な面なども考慮しながらとすれば、法人化による経営も一つの手段ではあると感じています。また洗馬地区では、外部からの労働力を入れることに少し抵抗がある地区と見えることもあります。外部労働力を入れた場合、その家の女性が気を遣うという話しはよく聞きます。

北沢 そういう負担は、JA側で雇用体系も検討しながら負うことや、必要な時期、作業に労働力を確保できるような対策も必要



塩原

北沢

塩原

だと思っています。

女性として見ればそうかもしれませんが。技能実習生などを2名入れたとして、食事は自分たちで作るから大丈夫と言われても、健康管理や生活のことなど心配してしまうと思います。

野辺山や八ヶ岳のレタス産地は、地区全体で外部労働力を迎え入れるから、農家同士の理解もあって良いけれど、洗馬地区はそのような体制がない中では、難しいかな。

先日の女性部役員会の中でもお話しがあつて、岩垂でも大きい農家の方がポツンポツンと離農している状況もあるそうです。芦の田の下の段を見ても今やブドウ園が増えてきている状況もあります。労働力がなくて農業ができないのなら、組合長が先程おっしゃられた通り、JAで何らかの労働力を斡旋してください。野菜農家でも果樹農家でもありがたいです。

北沢

JAとしては10年後も経営継続していることは前提としています。県下では経済事業主体で経営しているJAは少ない状況です。経済事業で生き抜いていくためには、この先どうしていくかというのを常に精査していく必要があります。生産現場で課題となる労働力不足、そして遊休農地再生と活用の各課題をいかに克服していくかを考える必要性を感じています。

少子高齢化にともなう

クレアセバの在り方について

北沢

これからは、生活・くらしの分野について入って参ります。まずはJA洗馬が運営する小規模多機能型居宅介護事業所クレアセバについてです。多機能とは、「泊まり」「通い」そして「訪問」の機能を複合的に発揮できる運営体制で、同じスタッフが24時間介護にあたる事が出来る仕組みとなっています。JA洗馬はもとより様々な事業運営を行う総合事業を展開していますが、介護事業だけを単独経営として収支を眺めると、非常に厳しいのが実態です。



総合事業を展開するJA洗馬にとって、何が大切かを語る北沢組合長

しかしながら、クレアせばがあったおかげで、農業経営にも集中できるといった声も頂く中で、介護事業が少なからず全てのJA事業に貢献を果たしていると考えています。また、クレアせばをご利用いただいている方々がその人らしい生活を、心休まる空間で過ごしてもらおうことは、JAの理念である「安心して暮らせる地域社会の実現」と合致したものであると考えています。定員も

塩原 少なく非常に小さい施設ですが、今後も洗馬地区の方々を中心としたご利用者さまのケアに努めていければと思います。両部長としてどんなご意見ご要望がございますか。身近なところにJA洗馬が運営する介護施設があることについては、非常に安心感があります。

北沢 近くて良いという意見も頂く反面、近すぎて駄目という意見も頂いています。ご家族の方とご利用者の方との間で意見がずれ違う場面もあるようです。またクレアせばに従事する職員は全て女性であるため、男性利用者の方が少し消極的になってしまいうこともあるようです。それでもご利用くだされば、安心感を持つてもらえる施設だと思えます。

塩原 **ご高齢の方は、やっぱり会話が楽しいと思うこともある**

北沢 んじゃないかと思えます。私はJA洗馬の助けあい組織ポケットの会にも参加していて、協力会員の皆さまからもお聞きする中では、そういう場所があるということは、とても安心できると思うんです。コロナ禍ということもあり、おしゃべりする場所がなくなってしまうと寂しいという声も聞かれます。ポケットの会もクレアせばも、地域で暮らすご高齢の方々や介護を必要とする方々の安心できる場所の提供に、今後も一層力を入れて継続していただければいいのではないかと感じます。

北沢 それは大事だね。「元気でいたかい？」からはじまる会話の重要性を感じますね。介護予防という面でもポケットの会の活動を続けていって欲しいものです。

田中 クレアを利用するには介護認定が必要なんでしょうか。要支援では利用が出来ないのか、ご存じなら教えてください。

北沢 小規模多機能型居宅介護では、要支援1、2、要介護1、5の皆さんに利用をしていただくことが可能です。ただし、クレアせばでは、ほかの介護施設との包括的な連携とバランスをとって、要介護1、5の方のみにさせて頂いております。詳しくはクレアせばに併設している居宅介護支援事業所がありますので、気軽に声を掛けてもらえればありがたいですね。

田中 相談できる窓口があることを知ることができて良かったです。

青年部・女性部として

農産物直売所アピスへのかかわり方

北沢 本年5月に機械化センターの移転と併せて生活課の事務所に農産物直売所、農産物加工室を併設した生活センターがオープンとなりました。オープンから2か月が経過し、当初心配していたことが解消できていたり、反対に課題とするところもいくつか見られるようになってきました。特にゼロからスタートした農産物直売所アピスについて、青年部、女性部としてのかかわり方についてお聞きしたいと思います。

田中 私も5月2日からのオープン記念セール期間中に店舗を利用させて頂きました。規模は小さいと言いますが、非常にきれいで、ご高齢の方にも利用しやすい店舗ではないかと感じています。農産物直売所店内で販売している「でかでかたまご」が我

が家では好評で、いつも購入させてもらっています（笑）。また加工部会の皆さんも様々なものを作られていたり、クッキーやパンなども出ていたりして、子供と一緒に買い物に行くときとすぐ目について買い物かごへ入れてしまいます（笑）。

正直言えば価格的には安いものではないかもしれませんが、手作りという魅力、他では買えないものという魅力があつていいと思います。組合長もご存じの通り、私も女性部の塩原さんも農産物直売所運営委員のメンバーでありまして、6月に開催された会議で直売部会長の北沢豊さんがおっしゃってくださった通り、農産物がコンスタントに棚に並ぶようになってくればいいかなと思います。青年部員でも何人か農産物直売部会に加入された方もいると聞いています。本当は青年部ぐるみで加入を目指していただければ結構なことだとは思いますが、販売出荷の傍らという位置付けになってしまつて、メインの出荷に時間を割いていると直売出荷になかなか手がまわらない状況になってしまうのではないかと思います。

北沢
気持ちには分かります。直売所は出荷することも協力だけど、買ってもらったり食べてもらったりすることも協力のひとつだと思えます。以前からお話しさせてもらっています。農産物直売所はスーパーマーケットではないというところをご理解頂いた上で、地域に密着できる店舗として位置付けしていければいいと思います。塩原部長さんは、農産物加工部会にも加入していると聞いていますし、息子さんの名前で直売部会にも加入していると聞きました。近況はどうですか。

塩原
農産物加工部会のことを言えば、メンバーが少ないので忙しい2か月間だったと思います。新作をいくつか販売させてもらいましたが、好評のものや課題となるものが見えてきたところでもあります。メンバーの中でも、購入下さった方から様々な意見や評価をいただきながら改良したり、製造販売面での検討を行いたいという考えもありますので、店舗入口にメッセージボードなどがあれば嬉しいですし、農産物を出荷する生産者の方と消費者の方を結ぶ重要な役割も果たすのではないかと思います。農産物直売所のことを言えば、今かなり出荷物が少ない様な気がしています。私の家もこの秋、梨やブドウなども出荷



田中部長のおススメは「でかでかたまご」

できれば少しでも協力できるかなあと考えておりますので、直売部会に加入の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。青年部の方も普段は忙しいかと思いますが、レタス祭りやスイートコーン祭りというものが今後開催されるようなら、ピンポイントでもいいので一緒に参加し、店前で元氣よく「いらっしやいませ」を言いながら、産地のアピールもできたらいいのではないのでしょうか。

北沢

という意見を頂きました。職員体制など課題もあろうかと思えますが、直売所運営委員会等でも課題と向き合いながら「農産物直売所アピス」をより良くするための検討」をして頂ければいいですね。

働き方改革の実践などもあり、職員に過大な負荷をかけることは現在では出来ません。そうした中で、毎日ではないですがパートさんをレジ係として採用したりしながら様子を見ています。日曜営業は現状では難しいかもしれませんが、直売所運営委員会で開催を掛けながら一緒に検討して参りましょう。



みんなで作る農産物直売所アピス!!

次世代へ「食」と「農」を引き継ぐために

北沢 前段にお話をお伺いしました。「JA青年部・女性部の活動状況について」でも触れましたが、「洗馬小学校のレタス栽培体験も、青年部・女性部が一緒に参加しながら進められたらいいですね」という中ではありますが、このような取り組みを通して、次世代に向けて「食」と「農」を理解してもらいながら引き継いでもらう取り組みの重要性を感じます。例えば、児童生徒の皆さんと先生を巻き込みながらの食農教育も重要と考えますし、もっと言えば生徒児童の皆さんの保護者の方も参加してもらいながらの体験農的な活動も重要だと思っておりますが、両部長さんはどうですか。

塩原 洗馬小学校のレタス栽培体験学習の延長線ですが、今度女性部と農産加工部会との共同企画で、レタスを使った蒸しケーキを、栽培学習の先頭に立ってくれた5年生にプレゼントしようと計画しています。「レタスでもこのようなお菓子ができるんだよ」ですとか、「洗馬のレタスを蒸しケーキで食べたよ」という思い出に残る活動になるんじゃないかと思いません。活動を通して「食」と「農」を更に感じてもらえれば嬉しいです。洗馬

小学校の先生にも確認し、アレルギイなどある子供さんはお家に持ち帰ってもらえればいかなと思っております。積極的に活動を企画し取り組んでもらえることに感謝します。

田中 食育という部分では、私は「収穫」という場面は非常に大事だと思います。

この野菜がどのように成長してきたかを学ぶことも大切だが、実際に自分の手で収穫するということは、もっと大事。その喜びを肌で感じてもらうこと



塩原部長の思い 子供さんの思い出に残る活動を!!

を大切にしたいですね。家族ぐるみの活動など、どのようなことができるかも含めて、これから成長する子供さんのためにも取り組めたらと感じております。そうすると活動量は多くなり大変にはなるのですが、部員の皆さんと話し合ってみながら、自分のためにもなるし、子供たちのためにもなるよう、有志など募りながら出来たらいいかと思えます。

また、我が家でも高校生の息子が、将来は家を継ぎたいと言ってくれています。まだ本気かどうかは分かりませんが、もしそうだとすれば本当に嬉しい限りですし、ならば農業大学校のようなところで少し勉強してきてもいいんじゃないかなと思っております。そのような時に「農家をやる」という確約のある次世代がいるとすれば、農業を学ぶための学費の一部なりを助成したりしてあげることができれば、それもまた「食」と「農」を引き継ぐための対策にもなるかと思えます。

北沢

JAとしても「就農の確約」ができれば何らかの形で支援することを通して、次世代の農業者確保ができればいいと感じていますので検討材料とさせていただきます。「食」と「農」を次世代に引き継ぐために、まずはコロナ禍で活動自粛と言ってしまうかもしれませんが、JAとしてもこのような対談のように話し合う機会がないと、机の上で考えていることで終わってしまうと感じています。それ以上に、面と向かって意見を言い、相手の話を聞くことで考えや気持ちが変わると思えますし、持続可能な経済事業に繋がるとも思えます。ぜひ今期も来期もその後も、両部長さんの考えを伝えていただながら、「食」と「農」を伝えていただける活動に取り組んでいただければ幸いです。

女性が活躍する社会の重要性と

JA洗馬女性部が果たす役割とは

北沢 安心してくらせる豊かな地域社会の実現のためには女性の力が必要不可欠です。JA洗馬女性部長としてのお考えを聞かせていただけますか。

塩原 このタイトルについて、女性部の役員の方々にも聞いてみましたが、私たち女性部員も高齢になってくれば辞められてしまう方もいて、その際にお嫁さんやご近所の方に「一緒に活動しませんか」というお話はして頂いているところですよ。しかし若い方、特に子育て中の若い奥さん方は、仕事と子育て家事にと忙しくて、なかなか活動に参加できないという状況もあるようです。母親だけに負担が重なってしまうというお宅もあるというお話もありますし、そういう面では男性に女性の負荷軽減を理解してもらえようになれば、仲間づくりも広がるし、活動の幅も広がると思いますが、男性陣も日々全力でお仕事されているかと思えますが、お互いに理解し合えればいいかとも思いますね（笑）。

北沢 ひと昔に比べたら男性の理解度も向上はしているかと思えますよ（笑）。それでも若い方は上手に時間を作っているような気もするし、女性部活動へ参加がないという面では、やはり魅力的な活動がないということも課題としてあるかもしれないね。でも、時間がなかったら参加もできないことは事実かも。特に子育て世代はなかなか厳しいと思います。理解してもらえて嬉しいですよ（笑）。でも、組合長がおっしゃられた通り、魅力的な活動が出来なかったというのも事実。だからこそ今年は「何か活動を」と考え、私の勝手な考えになっていけば申し訳ないのですが、手作りのアイテム作成などの活動を通して、仲間づくりができればいいと思っています。



田中部長の思い 大切なのは収穫の喜びを肌で感じること!!

北沢 ありがたいことです。塩原部長さんの言う通り、何らかの見える活動を通して女性部の意義をPRできれば、自ずと仲間の輪は広がってくると思いますし、子育て世代が忙しいことも理解できましたので、子育てがひと段落した世代の加入促進も願います。

そうは言っても子育て世代だからこそ、若い皆さんが女性部としていきいきと仲間づくりをすることで、子育ての悩みを仲間同士で共有することが出来れば、また違う活動にも繋がるんじゃないかと思う部分もあります。それもまた、JA洗馬の次世代対策のひとつだと思いますし、世代を超えた交流によって、伝統文化の継承ということも可能になってくるかとも思います。感染症対策にも気を付けながら、色々なことに積極的に挑戦してみてください。

田中 逆に結婚したばかりのお嫁さんを先に取り込む方法もあるんじゃないかな（笑）。

塩原 ぜひ青年部からそのような情報があればお聞きできればいいですね（笑）。

田中 確かに。今までそういう交流をしてきたことがないし、部員の確保ということも女性部の方と全然話しをしたこともないのですね。そういう点ではしっかり横のつながりを強めていければいいですね。加入については、「私は結構です」という方もいるかもしれませんが、青年部員と女性部員がお互い顔が分かっているだけでプラスに作用することもあると思いますので、ぜひ連携できる間柄でいたいです。

塩原 コロナ禍なので無理は出来ませんが、男性と女性の料理教室なんかも企画出来れば更に楽しいかもしれませんね（笑）。

田中 本当ですね（笑）。

JA洗馬「不断の自己改革」取り組み宣言

JA洗馬は、組合員との徹底した対話に基づいて、目指すビジョン「組合員とともに事業・活動を展開し、洗馬の農業危機突破」の下、「農業生産基盤の強化による産地の維持」「組合員とJAのつながり強化」「総合事業を支えるJA経営基盤の確立」の3つの柱を基本目標とする自己改革の実践に全力で取り組んで参りました。

これまでの自己改革の取り組みにつきましては、過去に実施した「JA洗馬の自己改革に関する組合員調査」、また集落懇談会や各種講習会・座談会等の場において、多くの正組合員の皆さまから一定の評価と、それ以上に一層の自己改革へ期待する声をいただくことができました。

また、多くの准組合員の皆さまからは、安心してくださる豊かな洗馬地域の実現のために総合事業の必要性や、地域の基幹産業となる農業を応援したいとの声をいただくことができました。

JA洗馬では、こうした組合員の皆さまの声をふまえ、准組合員を「正組合員とともに農業や地域経済の発展を支えるパートナー」と位置付け、令和2年1月31日付制定の「准組合員対応取組み方針」に基づき、准組合員の声をJA運営に反映するとともに、一層の事業利用と組合員組織や協同活動への参加・参画を進めます。

今後ともJA洗馬は、地域になくなくてはならないJAであり続けるため、地域とともに歩み続けられる存在として研鑽に努め、自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話活動を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んで参ります。

地域コミュニティの強化

正組合員と准組合員のかかり方

北沢 さて、最後のお題目です。お手元のJA洗馬「不断の自己改革取り組み宣言」をご覧ください。本年5月に開催された第73回通常総会の第4号議案として可決承認いただいた内容です。

「不断」という言葉は「絶えることなく続けること」という意味があり、「幾久しく自己改革を進めていく」という宣言になっていきます。JA洗馬としては当面、「農業基盤強化に向けた取り組みを主体とした産地の維持」を念頭に置いています。また、「組合員とJAのつながり強化」という面では、この対談もそうですし、集落懇談会や常日頃行われる栽培講習会などを

田中 塩原 北沢

通じて意見や要望の相互理解を図っていたりもしています。更に「総合事業を支えるJA基盤の確立」という面では、健全な経営の確保を基に、組合員への適切な還元を意識しております。こうした中、JA洗馬では農業の第一線で働く「正組合員」の皆さまとともに、「准組合員」の皆さまを「正組合員とともに農業や地域の発展を支えるパートナー」と位置付け、JA運営への参加・参画を進めていこうという宣言を致しました。私が常に呼び掛けている「なくてはならないJAづくり」「遠くて不便なJAよりも、近くて便利な農協が良い」の考えを基に宣言したのがこの内容。先般開催された、洗馬地区振興会の会議でも「JAとしてどのような地域興しができるか」に期待が高まっております。特に洗馬地区内の基幹産業でもある農業に対し、同じ洗馬地区内から「農業をやっていないんだけど、時間があれば農作業のお手伝いをしたい」という考えの方もいらっしやる中で、上手にマッチングが出来ていないという現状もあるのではないかと課題が提起されました。もっと近い場所にお住いの方を農業従事者として迎え入れることが出来れば、「労働力不足解消と参加者の体力づくりにも貢献できるのではなかるうか」という意見もあります。両部長はどうお考えですか。

マッチングの作業を個人でやるとなれば、本当に大変なこと。農家側からすれば、労働力の確保にあたり、どこの誰にどこまで話をしてもいいものかと思えます。

であれば、マッチングアプリの地元版的な役割をJA洗馬が担うことも一つの方法ではないかと思うよね。農家サイドは「対価を払うのでお手伝いが欲しい」、非農家の方は「言われなから出来ない」という矛盾を解消できる方法が必要かもしれないね。どこかで仲介ができる場所があってもいいのでは。

身近なところで言えば塩尻市農業公社がまとめる「ねこの手クラブ」しかないのかな。

そういうことをJA洗馬でもやってもらえれば、嬉しいかもしれないね。そのような人材資源が洗馬地区にあるのなら、ぜひ活用できればいいですね。

北沢

もし洗馬の中でマッチングのようなことに挑戦できるのであれば、洗馬の中での労働力確保を通じて、不断の自己改革取り組み宣言にも記載されている通り、「准組合員」の皆さまを農業振興の応援団として取り込み、「作って応援」「働いて応援」の各取り組みを実践できるよう、食と農に関心のある地域として知恵を出し合い、良い方向を探って参りましょう。

北沢
田中

長時間お疲れさまでした。全体を通してどうですか。今日は組合長とこのような対談が出来たことに感謝です。私としては120万ケースのレタス出荷目標に向けて一助となれるように頑張ります。価格的に安ければ気持ちもついてこないこともありますが、とりあえずは体が資本ですので、しっかりメンテナンスもしながら少しでも長く農業ができるように努めたいと思います。青年部もコロナ禍ではありますが、それぞれも頑張っていると思いますし、体以上に農家はなんのために頑張るかを見失いそうになることもあります。価格が安ければ本当に心も厳しくなってしまうと思います。そのようなケアのためにもJA紹介の専門の先生でもいいですし、それ以上に部員同士の交流、また女性部の皆さんとの交流などを通して気楽に話せる環境があれば「また頑張るぞ」「またレタス作るぞ」という気持ちにもなれるのかなあと思うところです。

塩原

今年の女性部の目標は「コロナ禍だけど出来ることを見つけてから楽しく活動する」ですので、部員の皆さんと協力しながら頑張りたいと思います。今日は田中部長さんとお話できて、色々面白いアイデアも浮かびました。洗馬地区にお嫁に来た方がいれば、周りは全く分からないので、そんな時に女性部とう組織がお嫁さんの相談に乗ったり、気軽におしゃべりできる場所であれば良いと思います。ぜひ男性も女性も、みんなで交流を深めながら、取り組みができればいいと思いました。

北沢

今日は本当に良い対談になったと思います。それぞれの部長さんにおかれましては、農作業の大変お忙しい中にもかかわらず、ご出席いただきましたことに感謝申し上げます。今日のこの対談を通じて特に感じたことは、「ざっくばらんに」、「面と向かって」、「普段思っていることや考えていることを」、

田中
塩原

「お互いの気持ちになって聞きながら」、「どうすべきかを一緒に考えて考える大切さ」であります。今日の対談のテーマである「明日の洗馬地区の農業」、「明日の洗馬地区のくらし」について、まだまだ話足りないところもありますが、ぜひ両部長さんにつきましては、各部会などに戻って今度は仲間の部員さんたちと語り合ってみてほしいと思います。そうすることで、すれ違っていた考えが結びついたり、新たな発見が生まれたりすると信じています。田中部長さんの言う通り、健康管理には十分ご留意されまして、両部長さん、そして青年部、女性部の益々のご活躍とご発展をご祈念申し上げます、感謝の言葉とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。ありがとうございます。



協同の心を誓いあい、がっちり握手する3名の姿に
JA洗馬、そして洗馬の農業とくらしに一筋の希望が見えました!!

*****ざっくばらん トップ対談*****

令和3年7月9日 午後1時30分からJA洗馬本所2階会議室で開催

編集：地域振興課 塩原 貴光

写真：地域振興課 小松 瑞枝

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

担当：共済課
青木 聡司

アオキの「**今月この処方箋**」～信用・共済情報～

特に
水害・風害

ご存知ですか・・・
近年頻発している

自然災害による車両への損害リスクを！

車両保障を付けていないと全額自己負担になります!!

自然災害による車両へのお困り事も車両保障で強力サポート！

自己防衛の手段として、
車両保障へのご加入
をおすすめします。

災害時などの事態に備えたいが
共済掛金が高く
なることが心配・・・

「損害限定担保(車両損害限定特約)」

自然災害にも備えたお手軽車両保障プラン
自然災害※1のほか、盗難※2・落書きなど
「限定された事故」による損害を保障します

災害時に加えて、平常時の
あて逃げなども心配・・・

「全損害担保」

さまざまなリスクを幅広く保障できるガッチリ保障プラン
自然災害※1に加え、自損事故・あて逃げなど
「幅広い偶然な事故」による損害を保障します。

※1 地震・噴火またはこれらによる津波を除きます。これらの損害が生じた際の臨時に要する費用に備え、「地震等車両全損時給付特約」をご契約いただけます。
※2 盗難による損害については、車上荒らし目的によるお車の損害も含まれます。なお、二輪自動車および原動機付自転車については、盗難は保障されません。

お問い合わせは共済課まで TEL: 53-5123

こうほうけいざいぶ



少し早いですが・・・ 作付け終了後は土壌診断の実施をお勧めします！！

土壌診断のメリット↓

1. 自分の畑の成分状態を知ること、来期の施肥の参考になります。
2. 継続的に診断することで、生育不良などの考察に役立ちます。
3. 結果的に、コストダウンや収益アップにつながりやすくなります。

・土壌診断は3プラン！最低価格は**1,210円**～ですがプランによりさらに細かな成分検査が可能です。
また、水稲用土壌診断もありますので詳しくは経済部窓口まで！！

担当：生産資材課 上條 千秋

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

俺たちの一品

～農機・自動車情報～

担当：生活課 清水 直幸



やまびこ

SRE2430UT



麻場産業

JA-AS23002



丸山製作所

MB229U-JA

草刈りの時期です!!刈払機の調子はいかがですか?

機械化センターでは、各種刈払機を取り扱っております。
性能および価格等は、農機担当者までお問い合わせください。

お問い合わせは・・・ 生活課 農機部門 (電話:54-2471)

黒ちゃんの たまには寄り道

＊ちょっぴり早いですが、**豆炭の予約注文お待ちしております!!** (注文書は7月に配布しました)

＊洗車カード3,000円・5,000円 引き続き**好評発売中!!**

ガソリンスタンド リニューアルキャンペーンのお知らせ!!

8月14日(土)～9月28日(火)までの毎週火曜日と土曜日

ハイオクおよびレギュラーガソリン、軽油を5円/L引きします!!

リニューアルしたJA洗馬SSに是非お越しくださいませ!!

自分で出来る・家族と地域を見守る 熱中症対策!!

- | | |
|----------------|----------------|
| ①こまめな水分補給 | ②マスクを外して休憩 |
| ③朝と夕 屋内外で適度な運動 | ④定期的な換気 |
| ⑤エアコン温度の適度な調整 | ⑥一人暮らしの高齢者へ声掛け |



夏野菜を食べて!



担当：生活課
黒田 寿子

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

頭の柔軟体操 3か所の
まちがいに気づくかな？

今回の撮影
梅雨の晴れ間の tachiaoi

正

誤

担当：総務管理課 竹原 恵理香

129号の答えはここ↓



J A 洗馬



クレアせばからの お便り

暑い夏がやってきました!! 先日クレアせばでは、誕生日会を行いました。桔梗太鼓中夢楽座の皆さんにお越しいただき、感染症対策を行いながら迫力ある太鼓の生の演奏を楽しみました。マスク着用でさらに暑さも感じますが、熱中症に気をつけながら、夏を乗り切っていきましょう。

★みなさんの願い事が
叶います様に★

「誕生日会」
桔梗太鼓中夢楽座の皆さん



↑ 釜井庵の七夕飾りを
見に出かけました

↓ 長興寺のお地藏様を
お参りました



担当：福祉介護課
奈良井 かおり・味澤 京子

お問い合わせ・ご相談などいつでもお待ちしております。

クレアせば・JA洗馬居宅介護支援事業所

電話：50-6177



夢ある「農」を目指して



株)ドリームファーム洗馬の圃場から

株式会社ドリームファーム洗馬は、JA洗馬100%出資の子会社です。

県内でも有数の葉洋菜生産量を誇る洗馬地区

農産物の生産及び販売、農業経営者の人材育成、食農教育や体験農業などを通じて
洗馬地区の農業発展を目指しております!!

梅雨も明け、今年もスイートコーンの季節が到来しました。
当社では、昨年「ゴールドラッシュ86」を栽培しています。通常の84日タイプと比べ重量も乗りやすく、先端まで登熟してから収穫ができ、結実の位置も高めであるため、収穫が容易という理由です。しかし、今年判明したことが一つ。それは「風に弱い!」ということ。それに比べ、試験的に栽培した90日タイプは「風に強い!」と感じた次第です。

今後、異常気象等も増え、他の作物も品種選定に大きく頼らざるをえない場面もあろうかと思いますが、次期作のスイートコーンは、倒伏しにくい品種を選択したいと思います。



ゲリラ雷雨による暴風雨で倒伏したゴールドラッシュ86 (写真内右側) ゴールドラッシュ90 (写真内左側) は無事だった

担当：ドリームファーム洗馬 寺澤 英明

農業に興味がある方・お仕事をお探しの方・収穫体験などのお申し込み、お問い合わせは・・・

株)ドリームファーム洗馬 代表取締役 寺澤 武憲 まで

電話：52-0108 (JA洗馬代表)

俺たちの心意気を旬の味覚に乗せて

青年部試験栽培スイートコーン収穫を迎える そこから見えたもの

J A洗馬青年部は7月21日水曜日、管内岩垂地区にある試験圃場でスイートコーンの収穫を行いました。今春の訪れは早かったものの、6月、7月の平均気温を積み重ねた積算温度が昨年より低かったため、当初の収穫予定日より1週間ほど遅れましたが、盟友約30名が集結し、早朝から食べ頃の2Lサイズに育ったスイートコーンの収穫作業に汗を流しました。

本来であれば、この朝採りスイートコーンを洗馬小学校の給食食材として提供する予定でしたが、収穫期が遅れたため、洗馬小学校の夏休みと重なってしまい、甘くておいしいスイートコーンを届けてあげることが出来ませんでした。青年部長の田中和義さん(上小曾部区)も非常に残念がっていました。

さて、昨年に引き続き取材した私塩原も、この日は盟友とともに1時間ほど一緒に作業を体験させていただきました。作業を通して感じたことは、「この盟友の力を全結集すること



ができれば、「食」と「農」への理解促進活動を通して、地域農業の発展のため、自分たちが一生懸命頑張る農業のため

に必ずや寄与できるのではないか」ということです。

「J A洗馬青年部盟友をいかに本気にさせ、熱い情熱と仲間意識を醸成し、自分たちが誇りとする農業へとその力を注いでもらうために、今こそ組織として必要な対策を!!」と考えます。



自分が誇りと思える農業に、青年部盟友自ら考え動ける
 人材の育成は、青年部だけに任せておくべきことではない
 地域社会の責任ある立場であるJ A洗馬は、
 その人材力を引き出せるような環境を整えてあげるべきではないか



洗馬小学校とJA洗馬 「食」と「農」の伝統交流
 ～レタス栽培体験学習～ 収穫の喜びをわかちあいました!!

- 1 1人1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人
- 8 8人
- 15 15人
- 17 17人

JA洗馬では7月2日金曜日、塩尻市立洗馬小学校5年生の児童と先生約50名と、毎年恒例となっている特産レタスの収穫を、本所近くの圃場で行いました。児童の親世代から続く地元小学生とのレタス栽培体験学習を通して、子どもたちに人間にとって大切な「食」と地元の基幹産業である「農」を知ってもらい、農業やJAが身近なものとなるよう毎年交流を深めています。今年も4月中旬に種まき、5月中旬には定植を行い、この日は待ちに待った収穫となりました。



収穫の喜びを感じながら頑張ってお収穫しました

雨が降る中、朝8時から収穫作業を開始し、当日の学校給食の材料に使うレタスと、日頃お世話になっている小学校周辺の施設や商店の方に贈るためのレタスの収穫を行いました。

児童の皆さんはJAの営農指導員や先生の指示のもと、収穫、洗浄、箱詰めなど各担当に分かれて手際よく作業。色とりどりの雨具に身を包み、足を滑らせて泥だらけになる子や、穫れたてのレタスを味見して「最高!」と叫ぶ子など、悪天候にもかかわらず、楽しそうに作業に取り組んでいました。

7月2日の学校給食のメニューは、レタスチャーハン、レタスサラダに、レタススープで、これたて新鮮なレタスをたっぷり堪能しました。

更に7月6日火曜日には、全校児童での収穫体験が行われました。5年生が収穫方法を手書きの絵で発表しながら下級生に教え、JA洗馬女性部役員の皆さまによる心あたたまるエスコートにより、おいしいレタスを児童全員が収穫し、各自のご自宅へ持ち帰ることが出来ました。

今年の栽培・収穫に臨んだ5年生は、4年生の終わりに地元洗馬のレタス栽培の歴史を学び、自分たちで育てたことで、レタスにとっても愛着を持っていくそうです。

春の種まきから栽培指導を担当した営農指導課の佐原果緒里さんは、「悪天候でも、子どもたちが最後まで笑顔でいてくれて良かった。農業のことを知ってもらおうきっかけになったと思う」と、感謝と感動を込めて話しました。



あたたかいふれあいにキュンです!!

スピノフ・洗馬小学校レタス栽培体験学習

感銘を受けた女性部が農産物加工部会と連携し

「レタス蒸しケーキ」を5年生に届ける!!



J A洗馬女性部は、7月16日金曜日レタス栽培体験学習で交流を深めた洗馬小学校5年生に、手作りの「レタス蒸しケーキ」を贈呈しました。5年生の児童の皆さんは昨年からのレタスの栽培学習を行っており、この学習の取り組みに感銘を受けたJA女性部が、レタスおやきなどの販売を行っているJA洗馬農産物加工部会の協力を得ながら、地元の食材を使った「レタス蒸しケーキ」の制作作業を早朝から行いました。

女性部長の塩原はるみさん（太田区）は、「児童の皆さんと一緒に良い経験が出来て楽しかったです。洗馬はレタスの産地。レタスの違った食べ方を通して、少しでもレタスの魅力を感じたり、農業をやってみたいと思ってもらえたら嬉しいです」と手紙を添えて蒸しケーキを手渡しました。

5年生の児童の代表からは、「7月2日のレタス収穫には一緒に参加してくれてありがとうございました。そこで採れたレタスは、お母さんからレタスのサラダや味噌汁などに料理してもらい、おいしく食べました。来年レタス栽培体験学習の主役となる4年生にこの学習をしっかりとバトンタッチしていきます」と元気あふれる感謝の言葉をいただきました。



レタス蒸しケーキを受け取る洗馬小5年生の皆さん

J Aグループのファミリーマガジン

『家の光』

農産物加工部会を単独取材!!

6月1日火曜日、JAグループのファミリーマガジンとして長年地域の皆様にご愛読いただいている「家の光」から、ライターの植田美智代さん、カメラマンの酒井大さん2名がお越しくださり、JA洗馬農産物加工部会の単独取材が行われました。

この日は、ちょうど手作り加工品の販売日。それぞれ忙しい中にもかかわらず、加工部会のメンバーの皆様は早朝から、元氣よく和気あいあいとレタスおやきやげんこつ揚げを作っていました。記事を手掛けるライターの植田さんもレタスおやきの作り方や農産物加工部会が歩んできたこれまでの経過など熱心にインタビューしながら、情報収集しておりました。またカメラマンの酒井さんにとっては、本格的なプロ仕様のカメラを余すことなく使いこなしながら、心込めて作られた品々を手際よく撮影しておりました。

名立たるJAは全国幾数あれど、小さいながらも地道に活動する私たちJA洗馬にスポットライトがあたった瞬間でした。今回の取材記事は、家の光9月号（令和3年8月配布）の連載コーナー「広がれ！地域の根っこ」に、フルカラー2ページにて掲載されております。家の光購読ご希望の方は地域振興課（電話52-0108）まで、お問い合わせ下さい。



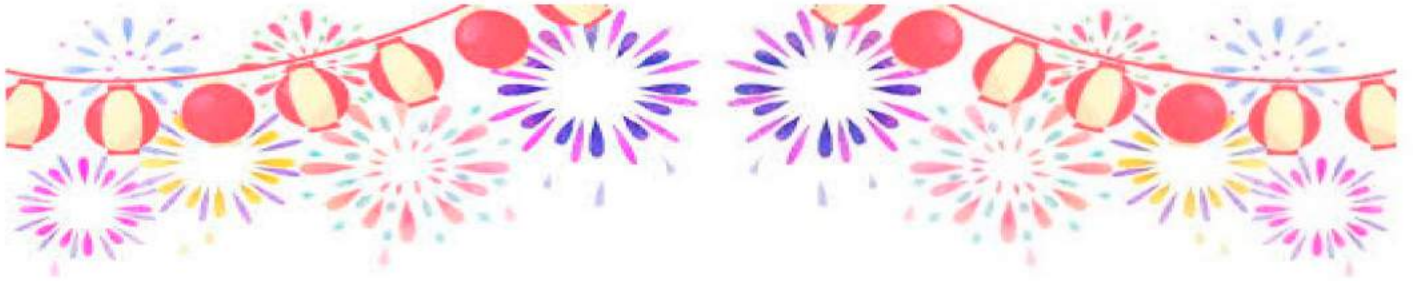
取材を受ける続木美佐恵部会長（岩垂区）

旬風



農産物直売所アピス

直売所イベント情報



お花まつり

令和3年 8月12日(木) 9時～売り切れ次第終了



直売部会

盆花(アスター・ススキ・

トルコキキョウ等)

洗馬産夏野菜・果物



加工部会

おはぎ・大判焼き

清流会

イワナ炭火焼き

店外屋台

何が来るかは
お楽しみに!!

生産者直売部会員さん随時募集中!!

お申し込み・お問い合わせは...

生活課 電話：54-2302

月曜～土曜日

日曜定休日

農産物直売所アピス

AM9:00～PM5:00まで営業中

毎週土曜は特売日!! ぜひ来てね!!

JAからの伝言板

ガソリンスタンド改修状況

本年5月25日に開催された「第73回通常総会」にてご承認いただいた「ガソリンスタンドフルサービス給油計量器等の更新工事」ですが、6月下旬に着工し、7月も順調に工事が進んで参りました。8月の完成工事検査を経ていよいよリニューアルオープンとなります。

(完成後リニューアルキャンペーンとして、ガソリンおよび軽油の特価販売を実施します。詳しくは本誌16ページをご覧ください!!)

これまでの給油設備は、使用頻度も高く摩耗老朽化とともに、万一故障した場合において修理部品等の調達が不可能となっており、今回は天井吊り下げ方式であった給油設備を地上配置方式へと変更しております。

完成後は、ガソリンスタンド内に地上設置型の給油設備が2台設置されることとなっております。給油にお越しいただく際には、車両間の追突事故等にご注意いただきながら、安全運転でゆっくり敷地内へお入りください。

尚、ガソリンスタンドは妙義保育園側からの一方通行となっております。農産物直売所アピス側からは進入禁止となっておりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

しおじり元気応援券の取り扱いについて

当店では **共通券** **地域応援券**
どちらの商品券も
ご利用いただけます。



**しおじり
元気応援券
取扱店**

商品券有効期限：令和4年1月10日(月)まで

(問い合わせ先) 塩尻市プレミアム付商品券事業実行委員会
事務局：塩尻農工事務所 TEL：0263-52-0258 塩尻市大門一丁目12番2号 えんじーく405

JA洗馬からのお願い事項

既にお買掛金（請求書扱いや口座振替扱い）として、購入された商品に対するお支払いにつきましては、大変申し訳ございませんがご遠慮いただいております。

お問い合わせは・・・
総務企画管理部総務管理課
電話52-0108

JA洗馬年金友の会から会員の皆様へ

毎年大勢の皆様にご参加いただいている、年金友の会研修旅行ですが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、本年も中止することといたしました。2年連続の中止となり、楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんが、皆様方のご健康・安全を第一として考え検討を重ねた結果となりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

担当窓口(事務局)

金融部信用課 電話:53-5123

2021

MATSUMOTO
Yamaga F.C.

観戦チケット取扱いのお知らせ

JA洗馬では、組合員様を対象に日付指定のホーム戦自由席チケットを提供しています。

1名につき1試合2枚までとし、(年間)最大4枚までとします。

(チケットは日にち指定で、電話での予約やチケットの取り置きは致しません)

枚数には限りがございますので、お早めにお問い合わせください。

お問い合わせは…

総務企画管理部総務管理課

電話：52-0108

JA洗馬は、松本山雅FCのパートナーズポンサーに加入しています。

今後の予定

- 8月12日(木曜日)：農産物直売所アピス盆前「お花まつり」
※詳しくは、7月に地区内全戸配布しました広告チラシや本誌22ページをご覧ください。
- 8月13日(金曜日)：SBCラジオ坂ちゃんのすくだせえぶり
いいJAん! 信州 フレッシュ直売所情報(11:50~12:00)
JA洗馬農産物直売所アピス 伊沢 智課長 生出演
- 8月31日(火曜日)：令和3年度仮決算棚卸 ・ 8月定例理事会
※当日は、休業となる売場窓口もございます。
事前に店頭掲示やメール等でお知らせします。

(一部終了した行事も記載されております。予めご容赦願ひます。)

理事会より こんにちは!!

広報誌にてご案内しております「理事会よりこんにちは!!」のコーナーです。毎月定例開催しております理事会から、組合員の皆様や地域の皆様に「お伝えしたい内容」や「ご理解いただきたい内容」をピックアップしてお届けしております。

尚、議事録詳細につきましては、理事会議事録閲覧要領に基づき閲覧申込を行うことが可能です。

✦ 6/25 (金) 理事会より ✦

ピックアップ1

スタンド給油計量器等の更新について

本件取得につきましては、第73回通常総会第10号議案で承認可決頂いておりますが、改めて入札式による価格交渉を行った結果、給油計量器工事及び照明工事、供給処理用の関係機器含め、11,210,300円で建設を進めていくことを青柳修総務企画管理部長から説明がありました。第73回通常総会では合計1,300万円で取得を承認いただきましたが、取得価格の減額が出来たことを理事会としても承認し、併せてスムーズな工事着工と早期完成に向け対応を図っていくことを全理事が確認しております。

ピックアップ2

令和3年度監事監査計画について

第73回通常総会において、本年度から新たな監事3名が選出されたことに伴い、上小曾部区の大熊陽一代表監事より、令和3年度の監査計画について報告がありました。

既に、令和2年度中に決定されていた監事監査計画ではありますが、新監事の選出とともに、改めて監査業務の羅針盤となる監査方針の確認や、JA洗馬のおかれた経営環境に対する監査環境の把握などを行いながら、再度監事会で協議し決定したものを理事会へ報告しました。

大熊陽一代表監事は、「計画に基づいた網羅的な監査活動を通して、JA経営の健全性と透明性、事業運営の妥当性などを確保できるように努めていきたい」と説明しました。

✦ 7/30 (金) 理事会より ✦

ピックアップ3

岩垂予冷センター真空冷却装置および 支援センター予冷庫の更新工事・コイン精米機の更新について

フロン排出法への対応のため、第73回通常総会第10号議案にて岩垂予冷センター真空予冷装置と支援センター予冷庫の更新について承認可決頂いておりますが、改めて今後の更新工事について検討を行いました。現在の岩垂予冷センターにおける真空冷却装置の稼働率を鑑みて、当初2基更新予定のものを1基とし、現在のラック式予冷庫横へ鮮度保持のための予冷庫を新たに増設した場合、価格がどのくらいになるのか、青柳修総務企画管理部長から説明がありました。

加えて、本年度に入り生活センター裏側に設置してありますコイン精米機2台のうち1台が、故障によるトラブルを多発しており、型式も古く部品交換もままならないところに、今回修理対応が不可能な故障が発生してしまいました。

理事会としましては、見積総額500万円弱となるコイン精米機の入替工事費の説明を受けながら、精米機の利用状況なども精査し、真空冷却装置および予冷庫更新工事の内容見直しによる価格抑制を図りながら、資産取得予算の範囲でコイン精米機の入替を行うよう確認しております。

今後は、真空予冷装置、予冷庫、コイン精米機の各価格交渉を業者と進めながら、併せて組合員や地域の皆様の利便性向上も念頭に置きつつ、最善の方法について協議検討を行い、早期着工を目指して参ります。

長野県JAバンク優遇プログラムによるサービス開始のご案内

JA洗馬では、令和4年3月25日（金）より、お客様のお取引状況等に応じて、セブン銀行・イーネット・ローソン銀行ATMのご利用手数料が無料となる「長野県JAバンク優遇プログラム」によるサービスを開始いたします。

お客様の毎月月末時点の合計ポイントに応じてステージを判定します

ポイント	
正組合員	2
准組合員	1
正組合員の同居家族	1
給与振込	1
年金振込	1
JAカード利用	1
ローン	1

優遇内容	セブン銀行・イーネット・ローソン銀行 ATM入出金手数料無料	
	ステージ2	ステージ1
優遇回数	2回/月	優遇なし
合計ポイント	2ポイント以上	0~1ポイント

例えば...

お客様のお取引内容等	合計ポイント	ステージ
正組合員(2ポイント)のお客様	2	ステージ2
准組合員(1ポイント)で、年金振込(1ポイント)のお取引があるお客様	2	ステージ2 (優遇対象です)
正准組合員(同居家族含む)ではなく、給与振込(1ポイント)とローン(1ポイント)のお取引があるお客様	2	ステージ2
正准組合員(同居家族含む)ではなく、JAカード利用(1ポイント)のみのお取引があるお客様	1	ステージ1 (優遇対象ではありません)

(お知らせ)

長野県JAバンク優遇プログラムのサービス開始とあわせ、令和4年3月31日（木）をもちまして、セブン銀行・イーネット・ローソン銀行ATMの無料サービスを終了いたします（セブン銀行ATM利用時のキャッシュバックサービスも令和4年3月24日（木）をもって終了となります）。優遇プログラムの詳しい内容及び無料サービス終了後のご利用手数料につきましては、JA洗馬HPをご確認いただくか、信用課窓口までお問い合わせください。

金融部信用課 ☎ 53-5123



JA事業をご利用いただいている皆さまへ

JA登録住所の確認と変更手続きのお願い



いつもJA事業をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、JA洗馬各部署から皆さまに重要なお知らせを郵送しても、返戻されてしまいお届けできないといった事案が時折ございます。お引越し等でご住所が変更になった方は、JA洗馬信用課にて住所変更のお手続きが必要です。JA共済をご利用の方は、信用課でお手続き後、同じフロア内の共済課窓口にもお声掛け下さい。また、お引越しをされていなくても、JAから届く**購買品請求書や毎年6月に組合員様へお配りする出資配当金振込通知書、利用分量配当金通知書等にはJA登録住所が記載されておりますので、お住まいのご住所と合っているか、今一度確認をお願い致します。**

JAの登録住所を変更する場合、ご本人様確認等のため必要なお持ち物がございます。詳しくは、JA洗馬信用課（TEL：0263-53-5123）までお問合せをお願い致します。

食と農のつながりを学ぶ機会に



ホッとseba

JAグループの子ども雑誌「ちゃぐりん」を寄贈



『ちゃぐりん』を手にする
寺澤専務理事(左)と中沢校長先生

JA洗馬は7月5日月曜日、塩尻市立洗馬小学校にJAグループの子ども雑誌『ちゃぐりん』8月号60冊を寄贈。JAの寺澤武憲専務理事が「ちゃぐりん」を読んで児童の皆さんに少しでも農業やJAに興味を持ってほしい」と、中沢寛校長先生に手渡しました。

「ちゃぐりん」の寄贈は、将来を担う子どもたちに地域農業の役割や食と農のつながりを学んでもらう食農教育活動の一環として毎年行っており、農業が地域を支える基幹産業として大きな役割を果たしている洗馬の小学生に、子どもの頃から農業や農産物に触れてもらうこと、農家の高齢化や後継者不足といった問題に歯止めをかけたという狙いもあります。

JAと洗馬小学校は、特産であるレタスの収穫体験による交流を行っており、中沢校長先生は「目を輝かせてレタスの収穫を行った5年生に渡して活用したい」と話しました。

編集後記

レタス畑で己を置く・己を磨く・己を叫ぶ

早いもので、今年もお盆が近づいて参りました。暦の上では立秋を過ぎ「秋」となるわけではありますが、広報誌せばの読者の皆様には残暑厳しき折、くれぐれもご自愛ください。

毎年8月15日は、終戦記念日。戦後76年となる本年。我が祖父も昭和20年7月の終わり、終戦まで僅かとなる中、激戦地となったフィリピンミンダナオ島、ダバオ・タモガン付近で戦死した一人です。祖父の木工仕事と農業を生活の糧としていた当時の我が家。3歳になる一人息子、愛する妻、そして養父母を残し遠い島国で命を燃やし散っていった歴史は、戦後何年たっても遺族に語り継がれることでしょう。今年も心静かに先祖の御霊をお迎えし、短いお盆、過去と現在、そして未来を改めて問いながら、盆棚に向かい手を合わせ過ごしたいと思えます。

さて、第2次世界大戦下の大日本帝国海軍とあって思いつくのは「戦艦大和」や、第26、27代連合艦隊司令長官、死後元帥海軍大将を追贈された「山本五十六」ではないでしょうか。山本五十六もまた、現在のパプアニューギニア、ブーゲンビル島上空で、前線視察の乗機が撃墜され戦死しております。その山本五十六の言葉

「やってみせ、言ってみせ、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」「やってみせ、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」は非常に有名で、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

単調に仕事をこなす機械と違う「人」を理解し育み、どのような立場年齢差であっても常に敬意を払い、相手を信頼し感謝がなければ、何事も成し遂げることは出来ないという意味が込められているのではないかと推察します。

農家の皆様や地域の皆様におかれましても、大切な後継者や後輩に対し、人材育成のヒントとなるこの言葉の意味を、心で捉えて正面から向かい合いながら「人」を育てていってほしいと思いますでしょうか。我々の職場「JA洗馬」もまた然り。「一度しかない人生だからこそ、後を継ぐ者を立派に育て上げる」その尊さを噛み締めつつ、令和3年の夏が過ぎ行きます。(塩)